

熊野古道をめぐる書巡礼

天 と 地

書家 柏木白光 作品展



紀伊山地の霊場と参詣道・世界遺産登録20周年記念展覧会
令和6年10月5日(土)～10月20日(日)

世界遺産 熊野本宮館 和歌山県田辺市本宮町本宮100-1

開館時間：午前9時～午後5時（最終入館 午後4時30分）

※会期中無休 ※最終日は午後2時まで

入館料：無料

主催：熊野本宮観光協会

企画運営：一般社団法人災害防止研究所

後援：和歌山県、田辺市、国際熊野学会、読売新聞社

世界を舞台に活動する書家 柏木白光

熊野古道をテーマとした代表作の展覧会開催

神話の時代から神々が鎮まる特別な地域であった熊野。書家・柏木白光は、熊野へと通じる参詣の路を歩み、人々の祈りの場である紀伊半島の聖地を書巡礼してきました。それぞれの地において、そこに宿る聖なるものと対話し、舞い降りた想いを筆と墨と紙で昇華する。12年の歳月をかけ、神社仏閣をはじめ89ヶ所の聖地において制作を続けてきた書作品の集大成が『天と地』です。熊野古道世界遺産登録20周年を記念し、2024年10月に『天と地』の代表的な作品群を一挙公開する展覧会が「世界遺産熊野本宮館」にて開催されます。



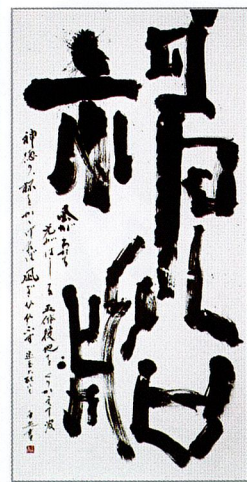
「那智山青岸渡寺」



「熊野本宮大社」



「熊野那智大社」



「熊野速玉大社」

書家 柏木白光 かしわぎびゃっこう

www.byakko.info



大分県中津市生まれ。書家であった初代・辛島寅次郎、2代・宇都宮廣の跡を継ぎ、5歳から書の道へ。毎日女流展（1988年グランプリ受賞）など受賞多数。毎日女流展審査員などを歴任。

1993年から1996年にかけて、サンスクリット文字（梵字）、モンゴル文字、エジプト文字、ヘブライ文字を、それぞれの文字が発祥した国に滞在しながら学んだ。

伊勢神宮、橿原神宮、明治神宮、靖国神社、橿原神宮などに作品が奉納されるとともに、沖縄県護国神社の記念碑に美智子皇后陛下御歌を揮毫。また、国際的な活動も多く、2012年にはニュージーランド・クライストチャーチの震災と東日本大震災の復興の橋渡しも行った。

2009年からは熊野古道をテーマにした作品制作を開始。熊野古道にゆかりのある神社仏閣などの聖地87カ所を書巡礼し、2022年11月に作品群『天と地』を完成させた。2023年4月には作品集を出版。現在も、聖なる地のエネルギーをその場で感じて書作品を創作し、書の新たな表現を拓き続けている。

